

第1回 多治見市財政問題市民懇話会主な意見など

令和元年10月8日(火)10:00～12:00

多治見市役所 5階第1会議室

<出席委員> 森岡委員、前川委員、神谷委員

<欠席委員> 佐藤委員、山下委員

<事務局> 加藤財政課長、小栗、冲中

1 財政課長あいさつ

2 自己紹介

3 会長及び副会長の互選

会 長 森岡委員

副会長 前川委員

4 議 題

(1) 財政判断指標の目標値と財政向上指針について

(2) その他

主な意見等

(1) 財政判断指標の目標値と財政向上指針について

(財政判断指標の目標値について)

①目標値が当初からあまり変わっていないように見えるが、根拠となる説明を聞いて妥当だという印象を受けた。

②平成23年当時の考え方等の変更点はあるか。

⇒基本的な考えは変わっていないが、技術的な算出方法は変更している。

③類似団体の比較資料以外で多治見市よりよい数値の団体はあるのか。

⇒資料にある団体は、前回の見直し時の資料と同じ団体を掲載しており、他の団体については調べきれていないため、一度確認してみる。

④民間の企業会計では利益と債務を切り離して考えており、行政の財政の手法とかなり異なる

印象を受けた。

(財政向上指針について)

①市債残高の上限(590億円)について前向きにやるのならば、例えば10億円を減らすという見せ方もできるのではないか。

⇒第2次で620億円だったものを、前回は5%減らして590億円とした経緯がある。今回は、企業会計の残高が流動的であるため減額するのは難しい。

②収入の増加について、滞納への取組状況はどうなっているか。

⇒諸納付金担当と税務署OBを嘱託員として、課ごとではなく、まとめて対応できるようにしている。債権計画を策定しており、滞納額は減少している。現在は、現年分の滞納が発生しないよう努めている。

(4) その他

(平成30年度決算の概要について)

①企業会計の市民病院の※の箇所がわかりにくい。

⇒指定管理であるため、補足として記載した。

②市民病院の収益は何になるのか。

⇒一般会計からの支出が収益となり、診療報酬は含まれない。

③財政判断指標の家計に例えるとの箇所を強調すると理解しやすいと思う。指標の数値が高い方がよいのか、低い方がよいのかわかりやすくした方がよい。